



## 国際交流員カロリンのコラム

### 入学おめでとう！

### Alles Gute zum Schulanfang (アレス グーテ ツム シュールアンファン)



日本では、入学式と言えば4月ですね。

ドイツの小学校の入学式は、州にもよりますが、8月から9月です。初めて学校に行く日にワクワクするのは、きっと世界共通ですね。私は、今でも入学式の日のことをはっきりと覚えています。

入学式は、ドイツ人にとって、とても大切な日です。入学したら、学校の規則を守って、自分のことは自分でやらなくてはいけないし、責任が生まれます。それに、保育園では自由に遊んでいたのに、入学したらすぐに将来の話が出てくるんです。

ドイツの小学校は4年制で、3年生になったら将来に向けて学校を選ばなければなりません。「小学校でどんな授業が楽しいか？何が苦手か？」が、次の学校を決める大切なポイントになります。例えば、手先を動かすことが好きなら工業を学ぶ学校を選べますし、言語を学ぶことが好きなら言語の授業が多い学校を選びます。

ドイツの小学校の入学式には、「die Schultüte (ディ シュールテューテ、入学記念の袋)」という素敵な習慣があります。保育園を卒園する日が近づく、子どもは、両親や教父母と一緒にアイスクリームのコーンのような袋を作ります。

その中に、両親と教父母が小学校で必要なものを入れてプレゼントしてくれます。



例えば、ペンや色鉛筆などの文房具、新しくできたお友達にメッセージを書いてもらう可愛いアルバム、それから、たくさんのお菓子です。お菓子は「これから小学校で頑張ろうね」という意味なので、毎日家に帰ってからおやつとして食べます。私は、70 cmもある入学記念の袋をもらいました！



教父母というのは、祖父母のように面倒を見てくれる存在です。キリスト教では、子どもが生まれたら教会で洗礼を受けるのですが、そのときに神様の前で教父母を決めます。教父母は両親や祖父母と一緒に、入学式という特別な日に参加します。

入学式当日は、ランドセルを背負って、可愛いドレスや格好いいシャツを着て、ピカピカのエナメル靴をはいて、入学記念の袋を抱えて学校に行きます！

私はとても緊張していたので、学校は朝8時に始まるのに、5時には起きて一番大好きなドレスを着て、「お母さん！お父さん！早く学校に行こう！」と両親を起こしました。ドイツ人にとって、それくらい小学校の入学式は大切な日なんです。

それに、家に帰ってから、楽しみにしていた入学記念の袋を開けたときのことも、よく覚えています。私の大好きなミルクチョコレートバーもあったし、ランドセルとおそろいのペンケースや、小さなぬいぐるみが入っていました。本当に嬉しかったです。

## 国際交流員カロリンによるママパパEnglishサロン

市国際交流協会では、子ども連れの方でも気軽に参加していただける英会話サロンを毎月開催しています。

国際交流員のカロリンさんと一緒に、遊びながら気軽に英会話を楽しんでみませんか？もちろん、大人の方のみでの参加もOK、外国人の方も大歓迎です！

- 日時 5月14日(木)・28日(木) 午前10時～11時
- 場所 薬師寺コミュニティセンター
- 参加費 無料(ただし、参加者は国際交流協会に入会していただきます。年会費 1,000円)
- 定員 10名
- 申し込み・問い合わせ先  
市民協働推進課 ☎(32)8887



### TAKE FREE

広報しもつけを設置してくださるコンビニエンスストアなどのお店を募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎(32)8886までご連絡ください。

PC・スマホ  
市ホームページ

